

## 6. 教育普及事業

### ■イベント・講演会■

#### <川崎市立中野島中学校美術部制作「明日の神話」展示>

期 間 2006 年 12 月 21 日(木)～2007 年 1 月 11 日(木)  
 内 容 中野島中学校の美術部員 7 名が制作した岡本太郎の「明日の神話」模写作品を、館内ギャラリーにて展示。  
 場 所 川崎市岡本太郎美術館 ギャラリー  
 (無料入館スペース)



### ■団体受け入れ■

当館では 20 人以上の団体で美術館を利用される場合、無料で岡本太郎映像の視聴や簡単なレクチャーを行っています。

また、学校や教育機関による団体での鑑賞学習や美術館を利用したグループ学習については、利用する学校と美術館が対象年齢や学習目的に応じて共同で先生と美術館が話し合いながらプログラムをつくる利用方法を行っています。

#### 平成 18 年度 団体受け入れ実績

月	小・中学校		高校・大学		障害者施設		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	2	260	1	39	0	0	5	97	8	396
5	5	435	3	212	1	39	10	217	19	903
6	6	446	8	273	1	40	7	168	22	927
7	5	498	4	113	3	88	9	203	21	902
8	2	142	0	0	1	22	11	303	14	467
9	6	789	0	0	2	36	7	441	15	1,266
10	15	1,625	2	174	1	25	17	538	35	2,362
11	7	541	5	151	0	0	12	249	24	941
12	15	1,330	2	59	0	0	6	173	23	1,562
1	6	616	0	0	0	0	3	79	9	695
2	7	587	1	17	1	20	6	151	15	775
3	1	88	0	0	0	0	7	239	8	327
合計	77	7,357	26	1,038	10	270	100	2,858	213	11,523

### ■教育普及プログラム■

#### <職業体験プログラム>

内 容 美術館の運営について体験を通して働く人間と接し、施設の目的や内容を広く学んでもらうための活動。学芸員の仕事、施設管理の仕事、ミュージアムショップの仕事、監視・受付の仕事の中から日程に合わせ選択し、各 2 時間程度体験。



## &lt;職業体験プログラム実施学校&gt;

	学校名	学年	実施日	人数
1	川崎市立菅生中学校	2 学年	2006 年 11 月 21 日 10:00~15:30 11 月 22 日 10:00~15:30	6 名
2	川崎市立生田中学校	2 学年	2007 年 3 月 1 日 10:00~15:30 3 月 2 日 10:00~15:30	6 名

## &lt;美術館探検ツアー&gt;

内 容 美術館職員の引率で、展示室や一般には公開されていないバックヤードなど、作品を保存するための施設や設備の見学を通して美術館の仕事と職業に対する認識を広げます。

## &lt;実施学校&gt;

	学校名	学年	実施日	人数
1	川崎市立平中学校	1 学年	2006 年 11 月 10 日 10:00~12:00	5 名
2	神奈川県立 川崎高等学校	2 学年	2006 年 12 月 20 日 10:00~12:00	14 名
3	川崎市立中野島中学校	2 学年	2007 年 1 月 23 日 13:00~15:00	2 名

## &lt;高校の利用&gt;

	高校・専門学校名	実施日	人数	担当	内容
1	都立成瀬高校	2006 年 6 月 22 日	11 名	杉田	美術鑑賞
2	神奈川県立生田東高校 1、2 年生	10 月 31 日	122 名	西、岩崎	岡本太郎について
3	川崎市立 川崎総合科学高校 1 年生	11 月 7 日	41 名	大杉	建築について
4	川崎市立川崎高校	12 月 8 日	39 名	大杉	岡本太郎について
5	私立城北中・高校	12 月 15 日	36 名	大杉	岡本太郎について
6	私立星槎国際高校	2007 年 2 月 2 日	17 名	大杉	岡本太郎について

## &lt;大学・専門学校の利用&gt;

	大学名	実施日	人数	担当	内容
1	専修大学経営学部 (奥瀬ゼミ)	2006 年 5 月 11 日	138 名	大杉	岡本太郎美術館の運営について
2	多摩美術大学 情報デザイン学科	5 月 11 日	45 名	杉田	展覧会の解説
3	多摩美術大学 彫刻学科	5 月 31 日	34 名	杉田	展覧会の解説

	大学名	実施日	人数	担当	内容
4	多摩美術大学 情報デザイン学科	6月2日	73名	杉田	展覧会の解説
5	和光大学	6月15日	5名	杉田	展覧会の解説
6	静岡産業技術専門学校	6月16日	20名	片岡	建築について
7	専修大学学芸員資格課程 (博物館実習)	6月17日	39名	佐藤玲子	博物館見学実習 (学芸員の仕事について) 展覧会の解説
8	専修大学経済学部	6月20日	19名	片岡	岡本太郎美術館が地域に果たす役割について
9	専修大学経済学部 (内田ゼミ)	7月19日	22名	大杉	学芸員の仕事について
10	玉川大学 博物館実習	7月28日	15名	大杉	博物館見学実習 学芸員の仕事について 展覧会の解説
11	立正大学 博物館実習	10月22日	50名	大杉	博物館見学実習 学芸員の仕事について 展覧会の解説

### ■館外普及活動■

#### <出張授業・講演など>

	団体名・場所	実施日	人数	担当	内容
1	川崎市民アカデミー	2006年 5月15日 5月22日 6月5日 6月12日 6月19日 7月3日	各回40名	佐々木	やきもの入門講座
2	川崎市立登戸小学校	6月～ 夏休み 9月14日	全校生徒 (764名)	佐藤悠子	子どもたちがアイデアを持ち寄り『明日の神話』をモチーフに描いた作品『生命の記憶』、の実技指導
3	専修大学 経済学部 奥瀬ゼミ	7月20日		大杉	グループ発表(マーケティングリサーチ)
4	小学校図工科実技研修会	8月3日	午前約20名、 午後約30名	大杉	岡本太郎の授業について
5	創造美育協会夏期セミナー	8月5日	約60名	大杉	岡本太郎を乗り越えて

<岡本太郎美術館スタンプラリー>

期 間 平成 16 年 3 月 13 日～より開始

認定者数 77 名[2007 年 3 月 31 日現在]

内 容 市内や都内近郊にある岡本太郎作品を所蔵する施設の作品や情報を掲載。各施設のスタンプをすべて集めることにより、美術館からスタンプラリー認定証と、川崎市岡本太郎美術館、岡本太郎記念館、川崎市市民ミュージアムの招待券(各 2 枚)を贈る。

<作品・スタンプの設置場所>

- ・川崎市岡本太郎美術館
- ・岡本太郎記念館
- ・川崎市立藤崎小学校
- ・川崎市役所第三庁舎 1 階ロビー
- ・等々力アリーナ
- ・川崎市市民ミュージアム
- ・高津市民館
- ・神奈川県立向の岡工業高校
- ・大山街道ふるさと館 (スタンプのみ設置)

<作品のみ設置場所>

- ・入江崎スラッジセンター
- ・二子神社境内 岡本かの子文学碑



■教材開発と利用■

<ビデオ「岡本太郎の芸術」>

規 格 「岡本太郎芸術を語る」(VHS 29 分 50 秒)の短縮版・再編集 17 分

用 途 学校、教育施設に貸与し、岡本太郎芸術の普及教材として使用する。



ビデオ

<岡本太郎作品 大判プリント・カード>



ラミネート加工  
42.5×30.4(cm)



フレーム入り  
42.5×30.0(cm)



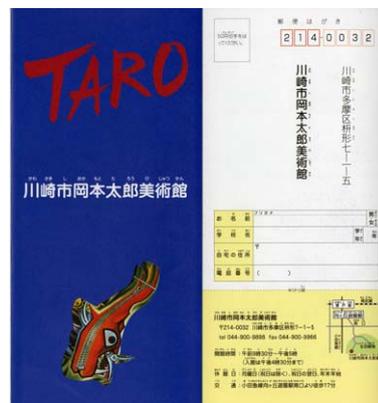
カード  
12×18(cm)

### <子ども用パンフレット>

小中学生向けに岡本太郎の作品を年代順に紹介し、岡本一平・かの子について、川崎市内に設置されている太郎作品、美術館の案内図などを掲載している。裏面は切り取って使用できるハガキになっており、子どもたちが感想などを自由に書いて美術館へ送ることができる。

子どもからの葉書[2007年 3月31日現在]  
(葉書は美術館ギャラリーにて閲覧可能)

小学校	17校(1,496通)
中学校	1校(101通)
高等学校	1校(14通)
個人(幼児・児童・生徒)	10通



### ■美術館教育研究会■

会 期 2007年3月28日(水) 午後2:00~4:00

場 所 岡本太郎美術館 創作アトリエ

議 題 <18年度普及事業報告>

美術館の利用状況

- ・利用団体、入館者数
- ・中野島中学校美術部制作の「明日の神話」模写作品展示
- ・大学の利用、職業体験プログラム、美術館体験ツアー、館外普及活動
- ・子ども向けパンフレット、および子どもからの手紙
- ・貸出用教材の活用状況
- ・スタンプラリー実施状況

<19年度普及事業予定>

- ・展覧会予定
- ・普及イベント
- ・教材開発
- ・学習レポート

出席者 小中学校：平野英雄、三村修一、長沢秀幸、坂田全徳、東川美英子、(欠席者：行川博幸、江野緑朗、鈴木信一郎、北村健太、伊藤慶三、尾崎美幸)  
美術館：大杉浩司〔司会〕、佐藤悠子〔記録〕、岩崎由紀子、斎藤芙美